

◆ 平成23年度（前年度） 入学試験問題出題範囲及び傾向

九州女子大学・九州女子短期大学

一 般 入 試	国 語	範囲	国語総合(漢文を除く)
		傾向	説明的文章と古文を素材として、漢字の読み書きや空欄補充、多肢選択による内容把握、文学史の問題などを出題し、基礎的な読解力や論理的思考力、文学史の知識などを問う。
	英 語	範囲	英語 I・II
		傾向	(1) 英文の読解力や論理的思考力を問う問題。 (2) 基礎的な文法や語法を問う問題。 (3) 対話文の完成問題。 (4) 語句整序形式の英作文問題。
	日 本 史	範囲	日本史B
		傾向	基本的に、高校「日本史B」の教科書から大きく逸脱しないように、また特定の時代・分野にかたよらないようにしている。各々の時代・分野は担当者間でローテーションしてかたよりをなくし、総合的な問題を出題する。
	世 界 史	範囲	世界史B
		傾向	教科書の基本的な知識と理解力を問う。また、特定の時代や分野に偏らない、全時代・全分野の出題範囲とする。受験生は、教科書をしっかり学習して、理解しておけば解ける問題である。
	地 理	範囲	地理B
傾向		毎年数種類の「地理B」の教科書を基準に地球規模の観点から万遍無く出題している。図版や地図の判読問題及び景観写真から地理的な事象を読み解く問題は特徴。図表や統計資料の理解と解釈の問題でも地理的なものの見方考え方を確認することになっている。地理的関係位置や卓越地域など地図に即して考える力を求めている。社会科は『古今・東西』を学ぶ関係から地歴融合の問題にも注意してほしい。地図帳と新聞に慣れ親しんでバランスよく学んでほしい。	
生 物	範囲	生物 I	
	傾向	「細胞」「生殖と発生」「遺伝」「環境と動物の反応」「環境と植物の反応」の5領域に関わる概念の理解とその応用力を問う基本的な問題を出題した。	
化 学	範囲	化学 I	
	傾向	・化学 I で学習する「基本的な基礎知識・概念」について問い、さらにそれらを用いた計算力や応用力を問う問題が出題される。 ・出題の領域としては、化学の基礎知識や原理、無機化学、有機化学の三領域からほぼ均等に 出題される。 ・大学での化学の領域と関連する授業の理解に必要な基礎学力を問うので、高校化学 I の教科書の内容を理解していれば解答できる。 ・化学実験に関する基礎的な知識、たとえば実験器具の操作法や取扱留意点なども出題される。	
数 学	範囲	数学 I・数学A	
	傾向	「式の計算」「実数」「1次不等式と2次方程式」「2次関数とグラフ」「三角比」「場合の数と確率」「三角形の性質」「円の性質」から出題した。 難易度は教科書の章末問題程度を基本とし、それに数学的な考えや思考力を問うやや発展的な問題もつけ加えた。	
現代社会	範囲	現代社会	
	傾向	教科書の基本的な知識と理解力を問う。「現代社会における人間と文化」「環境と人間生活」「現代の政治経済と人間」「国際社会と人類の課題」からバランスよく出題する。受験生は、教科書の内容をしっかりと学習し、基本的知識を着実に身につけ、あわせて現代の社会の基本的問題を総合的に理解しておけば解ける問題である。	

- ・各科目別の出題傾向は前年度のものであり、本年度は変更する場合があります。
- ・昨年の出題方式は全てマークセンスによる解答です。